



木下 正 議員



学力・学習状況調査

問 市における過去のデータはどのように分析したか、また分析に基づく対処策の策定が必要ではないか。

答 中学では各教科で改善の傾向にある、一部小学校で国語算数ともに全国平均を上回るが、過去の調査結果と同様、小6の国語で読解力や書く力に課題があると分析、この結果を踏まえ日々の授業を充実し読解力や書く力を向上、袋井型授業づくりを実践していく。

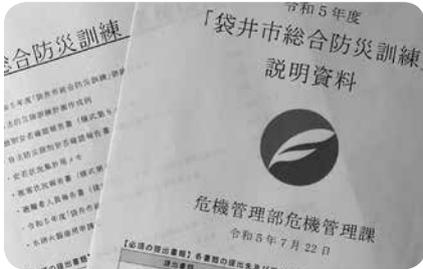
問 課題対応には地域や各種団体の協力も必要ではないか。

答 無限の可能性を持った子供たちの成長には家庭や地域の大人がともに支えることが大変重要で、さまざまな方の協力を借り社会総合力での教育に取り組んでいく。

総合防災訓練の取組

問 適切な避難行動のため、さまざまな情報ツールを用い受信発信するなど実態に即した訓練は重要ではないか。

答 非常に重要で、今回自主防災隊長から参加者に対し安全な避難のポイントやさまざまな防災情報アプリを記載した防災チラシを配布、情報把握の重要性を説明してもらった。



「袋井市総合防災訓練」説明資料



村松和幸 議員



ゼロカーボンシティの実現のために

問 ゼロカーボンシティへの取組をどのように進めていくのか、今後のビジョンは。

答 現在、地球温暖化対策・区域施策編の策定作業を進めている。それは、市民と事業者の皆さまと行政が丸となって目指していく将来像である。

災害避難の多様性についての取組は

問 医療的ケアが必要な方や障がい者など、災害弱者に対する受け入れ方や対応は。

答 避難者で組織される運営委員会の中で、要配慮者支援班を設けることになっており、避難者相互による支援、対応することになっている。今後も、訓練などを通じて、周知啓発に取り組んでいく。

久野城址保存会の日本城郭協会大賞を受けて

問 大賞受賞という栄誉を、広く内外に発信していく必要があると思うが、どのように考えているか。

答 5月の市長定例記者会見において、受賞をPRした。また、広報ふくろい8月号に受賞に関する記事を掲載し、ホームページにおいても、受賞内容を記載し、周知に努めている。



久野城 鳥瞰図



鈴木賢和 議員



UD(ユニバーサルデザイン)タクシーの増車を

問 なぜUDタクシーの増加が進まないのか。

答 経費負担の増加や、教育訓練の必要性に加え、近年、全国的にも課題となっている運転者不足の観点から、UDタクシーの増加は難しい状況である。

問 地域の住民や利用者に、UDタクシーや福祉タクシーの利用手順を広く知らせる取組が進められているか。

答 十分な広報はできていないことから、これらタクシーの理解を広めることが利用者の増加につながり、ひいては、タクシーの普及につながる。今後におきましては、UDタクシーや福祉タクシーの認知度が高まるよう、ホームページや広報紙にて市民に周知していく。

熱中症対策の推進を

問 高齢者世帯のエアコンの整備や点検を促す取組は。

答 現在、経済産業省のホームページで、エアコン点検や試運転の啓発を行っている。市としても、暑い夏に備え、エアコンがしっかり機能するよう熱中症予防の啓発事業として、梅雨入り前までの点検実施など周知していく。



高齢者 熱中症対策